



〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL: 099 - 294 - 2311

FAX: 099 - 294 - 2309

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574(フリーダイヤル)

099-294-2200(直通)

0570-0-78310(全国統一ダイヤル)

大原台



移動講座

フレッシュ研修

先週、宝島小学校卒業後、四十四年たってはじめての同窓会があった。

それぞれの近況報告や思い出話が座席順に進み、六年担任だった吉永先生の順番になつた。

間もなく八十才になられる先生はみんなに小さな数枚綴りの冊子を配られた。「宝島記」とある。今日のために用意された手作りだ。日本書紀や唐僧鑑真の伝記の中から、奄美諸島やトカラ列島にかかる記載を紹介し、宝島との関係を考察してあつた。

それまで実に賑やかだった座が、すっと静かになつた。「ずっと昔の人が、この坂でイギリス人をやつつけたんだ。だから、『イギリス坂』と呼ぶんだ。」胸をときめかせながら聞いた言い伝えが、歴史的事実に基づききちんと説明されていた。

先生の話は、淡々と、そして終わつた。少しの沈黙の後、「やっぱり先生はすごかね。」と誰かの声、それに続き一齊に「先生に習つた島の民謡を今でも歌えるよ。」「縦笛の吹き方は、タンギングだ。先生がそう言つていた。」「などなど、一瞬にして当時が部屋一杯に蘇つた。最後に先生は、「歴史を勉強しているのです。」と嬉しそうに言つて座られた。

今、教育センターの杜は雨に濡れ輝いて見える。

「眞の教育とは何か、如何にあるべきか。」といつた永遠の問いに「教學一如」の碑がこだまする。「教えることは学ぶことである 学ぶことは深く生きようと願うことである」未来を拓くたくましい子どもたちの成長に感謝しつつ。

杜



所長 中野 健作

「イギリス坂」

「調査研究」機能を中心として、学校の活性化や教職員の資質能力の向上を図ります

教育センターでは、学校の活性化や教職員の資質能力の向上を図るため、教科指導や生徒指導などの調査研究を進めています。また、その成果を生かした基本的・専門的研修や研究支援を推進しながら、教育相談の充実や教育情報の提供などに努めています。

教職員研修

悉皆研修（対象者全員が受講する研修）

経験年次別研修

初任校研修 5年経験者研修 10年経験者研修 人権教育教職員等研修会
新規採用養護教諭研修 新規採用事務職員研修会 幼稚園新規採用教員研修 等

職務別研修

新任校長研修会 新任教頭研修会
経験者教頭研修会 人権教育管理職研修会
特別支援学級等新任担当教員研修会
訪問教育等担当教員研修会 等

希望研修

短期研修講座 長期研修
継続研修 土曜講座 等



経験者教頭研修会

今年度、どのような調査研究を進めていますか？

全体研究主題のもと、各課の緊要な課題に関する研究主題を課ごとに設定し、専門的・実践的な調査研究を進めています。課の調査研究は、基本的に2年サイクルで進めています。今年度まとめの調査研究を行っているのは以下の3課であり、内容は、次のとおりです。

教科教育研修課

情報教育研修課

教育相談課

【研究主題】
「自ら考え判断し、表現できる力をはぐくむ学習指導の在り方に関する研究～各教科等の言語活動の充実を通して～」

【研究主題】
「児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方に関する研究」

【研究主題】
「自己指導能力の育成に向けた組織的・計画的な生徒指導の在り方に関する研究～実態把握及び年間指導計画の工夫を通して～」

【研究内容】
1 実態調査と1年目の課題を踏まえた「言語活動の充実」に関する理論の整理
2 各教科等の特質に基づき「言語活動の充実」の視点を踏まえた検証授業による理論の検証
3 言語活動の充実を図る単元の指導計画の工夫

【研究内容】
1 発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方
2 情報モラルの年間指導計画例に基づく授業の在り方
3 情報モラルの指導に学校全体で取り組むための方策

【研究内容】
1 個別及び集団の実態を把握する質問紙（仮称「生徒用実態把握シート」）の作成
2 年間指導計画の工夫による組織的・計画的に進める生徒指導の方策等の具体化

平成23年1月28日(金) 調査研究発表会
(当教育センター大原台講堂において研究成果を発表)

「調査研究」機能を中心として、学校の活性化や教職員の資質能力の向上を図ります

調査研究

全体研究主題
生きる力を豊かに育てる学校教育の創造

課による研究

プロジェクトによる研究

研究提携校との提携

大学との連携

研究協力員との実践研究

研究成果の提供

教育相談

来所相談・電話相談

自閉症・知的障害、発達障害等の相談
いじめ、不登校、交友関係等の相談
かごしま教育ホットライン24

(24時間いつでも電話相談)



教育相談

研究支援

研修会等への所員派遣
来所研究への支援
文書・電話等による支援



来所研究への支援

教育情報提供

調査研究発表会 各種刊行物
Webサイトによる教育情報の提供
「教育ネットかごしま」の管理運用



調査研究発表会

研究提携のねらいは何ですか？どのような提携をしているのですか？

教育センターでは、研究提携校との提携、大学との連携、研究協力員との実践研究などを行って、調査研究及び研修の深化・充実を図っています。

研究提携校との提携



県内5校と提携を結び、教育センターの調査研究の理論や成果等を実証したり、提携校の主体的な研究推進への支援を行ったりして、相互の研究の充実を図っています。

提携校	研究主題	研究公開日等
鹿児島市立山下小学校	「生きる力」をはぐくむ学習指導の開発Ⅲ ～子どもが「学び」をつなぎ、「学ぶ」を生かす学習指導～	平成22年11月12日（金）
奄美市立宇宿小学校	気付き・考え・かかわる社会科学習指導の充実 ～学年別における複式社会科学習指導を通して～	平成23年度中間発表予定
鹿児島市立吉田南中学校	「確かな学力」をはぐくむ学習指導 ～言語活動を通して基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る工夫～	平成22年10月22日（金）
県立松陽高等学校	よりよく生きる生徒の育成 ～知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成のバランスを重視して～	平成22年11月17日（水）
県立出水養護学校	自立を意識してのびやかに育つ子どもの姿を目指して ～キャリア教育の視点から見る年間指導計画の再編成～	平成23年度研究公開予定

大学との連携

教育に関する諸課題の解決を図り学校における教育活動を充実させたり、教員の資質向上を図り本県教育を担う人材を育成したりするねらいから、鹿児島大学教育学部及び鹿児島国際大学と連携協力した諸活動を行っています。教育センターの実践的な研究と大学の専門的な研究の融合を図っています。

研究協力員との実践研究

県内の教員の中から委嘱された35人の研究協力員が、所員と協力しながら実践研究を進めています。研究協力員は必要に応じて授業提供や研究発表などを行っています。
(小学校13人、中学校14人、高等学校8人)

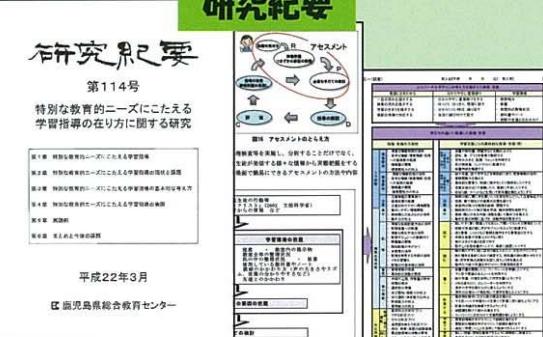
調査研究の成果はどのような形で、学校や教職員に提供していますか？

調査研究の成果は、センターで実施する教職員研修や教育相談等に生かしています。

また、刊行物やWebサイト等で提供していますので校内研修等で**積極的な活用**をお願いします。

刊行物

研究紀要



指導資料

指導資料は、Webサイトからダウンロードできます。
今年度4月に最新作の18本を掲載しました。10月には新たに18本掲載します。
また、教育センター玄関ロビーには、印刷したものが備えてありますので、来所の折にご利用ください。

Webサイト



教育センターWebサイトには、調査研究事業の成果を随時掲載しています。定期的にアクセスして、御覧ください。



がんばっています！長期研修者

長期研修は、教育実践上の課題を踏まえて、研修者が自ら設定した研究主題について、1年間にわたり専門的内容を継続的に研修する制度です。

本年度は、11人（小学校5人、中学校3人、高等学校2人、特別支援学校1人）の教員が長期研修に取り組んでいます。

研修期間中は、各自の研究課題の究明だけでなく、基礎研修や所員講話、相互研修、教育相談事例研究など多彩な内容が計画され、充実した研修の日々を過ごしています。



長期研修室の様子

継続研修（高等学校情報処理教育継続研修）

急速に進展する情報化に対応するため、県内の高等学校の情報技術・情報処理に関する科目や普通教科「情報」の担当及び情報教育の推進を担当する教員を対象に、年間を通して継続的に専門的研修を行い、新しい知識や技術の習得を図り、情報処理教育及び情報教育の充実に資することを目的として実施しています。（本年度 10人が研修中）



「学校における教育の情報化の推進」の講義

《研修内容》

■共通研修（年間7日）

データベース、プレゼンテーション、マクロ・VBA、LAN等の活用など

■コース別研修（年間12日）

①情報技術コース→CAD、プログラム言語、LED制御回路など

②情報処理コース→生徒のための「上級資格取得」指導の在り方

③情報総合コース→ホームページ作成の応用、動画編集、デジタル画像の活用など（この他にも、情報モラルや情報セキュリティなどの研修があります。）



「LANの活用」の演習

教育相談の御案内

いじめ・不登校など子どもの教育に関する相談、障害のある子どもや学習面・行動面につまずきのある子どもなど特別支援教育に関する相談に応じます。

【電話相談】

○ 受付時間

月曜日～金曜日 8：30～17：00
(年末年始、祝日は除きます。)



○ 電話番号

◇教育相談課 099-294-2200
◇特別支援教育研修課 099-294-2820

【来所相談】

○ 月曜日～金曜日 8：30～17：00
(年末年始、祝日は除きます。)
○ 直接センターに来ていただいて相談を受けます。
○ 事前の電話予約が必要です。

【かごしま教育ホットライン24】

○ 電話番号 0120-783-574（無料）
○ 24時間対応で、いじめ・不登校等の相談に応じています。

今、全国の教育センターでは

全国教育研究所連盟（全国の教育センター等で組織）では、3年間をサイクルに共同研究に取り組んでいます。平成22年度からの研究は以下のとおりです。

1 研究主題

「実践的な指導力の向上を図るこれからの教員研修の在り方」（継続）

2 研究の視点

- (1) 若手教員やミドルリーダーの育成
- (2) 校内研修に対する支援

【参考】平成21年度までの取組

1 研究主題

「実践的な指導力の向上を図るこれからの教員研修の在り方」

2 研究の内容

- (1) 実践的な指導力の向上を図る校内研修の在り方
- (2) 実践的な指導力の向上に向けての支援体制の構築



※ 当教育センターにおいても、全国教育研究所連盟の研究を踏まえながら、教職員の資質向上を図る校内研修の在り方等についての研究を一層充実させていきます。